

## 2026（令和8）年度 教養学部国際教育学科 学校推薦型選抜（一般）講評

### 【出題意図】

#### 問1・問2・問4・問6

文章の内容を正確に読み取ることができるかをみた。

#### 問2

文脈から適切な英語を推測できるかどうかを見る問題である。与えられた時間の中で、求められた情報をすばやく探すことができるかをみた。

#### 問5・問6

本文の内容を読み取り、日本語で誤字脱字なく、簡潔に筋道立ててまとめる力があるかをみた。

#### 問7

根拠を挙げながら、まとまりのある英文で自分の意見を述べることができるかをみた。あわせて、文法力、語彙力、スペリングなどの英語の知識についてもみた。

### 【講評】

#### 問2

意味の理解も大切だが、この空欄には文法上、形容詞が入るべきであるという理解も問うている。

#### 問5

英語を読む力はある程度確認されたが、それを日本語として表現する力がやや弱い。英語の4技能の向上を図りつつ、日本語の表現力も向上させられると良い。

#### 問6

“Make sense”というイディオムを捉えられていない解答が目立った。イディオムに形容詞が加わりうること（今回は“complete”）にも注意して、語彙を増やしてほしい。

“it～that”の構文を捉えられていない解答も目立った。挿入句（“with kids”, “obviously”）が入ると文の構造を把握するのが困難になるのかと思われる。

“ask for screens”を理解できていない解答も散見された。文章全体から、これがスマホについての話だと類推できる力を身につけてほしい。全文訳をしていない解答も散見された。

日本語の漢字ミスや意味の通じない文章もあった。要約は本文の正確な訳と理解に基づいてまとめるべきであったが、自分の知っていることのイメージに頼ってまとめているものも見られた。

#### 問7

自分の経験についての記述はよく書けていたが、本文との繋がりに言及できていない回答も散見された。また、単純なスペルミスや基本的な文法ミスも見られた。スペルや文法、特に正しい動詞の使い方を身につけ、かつ手書きの英語を練習する必要がある。